

課題番号：処-205

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「廃棄体検認」 課題「廃棄体確認、分析方法」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				1
			（参考）関連する研究課題				
1	廃棄体確認、分析方法を確立したい。	●通常の原子力発電所から発生する廃棄物に対する検認の考え方と方法は確立されているが、事故を起こした福島第一原子力発電所においてはそのまま適用することは困難である。 ●福島第一原子力発電所の廃炉においては、多種多様かつ大量の廃棄物を対象とするため、合理的かつ現実的な廃棄体確認の考え方と、それに応じた分析方法を確立することが望まれる。（合理性を向上させるため、廃棄体確認を行わずに処分を可能とする考え方・方法の確立も含む）。	【実施されている研究課題】				
			H28年度英知「ロボット制御技術を用いた廃棄物中放射性核種分析の自動前処理システムの開発」 H31年度英知「燃料デブリ分析のための超微量分析技術の開発」				
			【検討されている研究課題】				
			課題リスト「スケーリングファクタ法の開発」				
関連する課題		処-103「計量管理」 処-201「減容化手法」 処-202「廃棄体化手法」 共-3「測定・分析技術」					